

丸山議員

まちなか誘客について

問県内外からの観光客をいかにして本町やはや記念館に呼び込むのか。その方法としては、1月末の年の市や2月の左義長に加えて、商店街にテント村を設営し、スキージャンプとタイアップして誘客を図るのも一つの方法ではないか。また、恐竜の顔をしたバスを県立恐竜博物館からまちなかに走らせるのも一つのアイデアと考える。理事者の見解を求めます。

答今後観光戦略室において事業を工夫し商業者の意欲を高め、まちなかの入込数を増やしていく。あわせて恐竜をテーマにした誘客イベント、お土産商品の開発、複数のまちなか回遊ルートの設定等を実施していきたい。恐竜の顔をしたバスについては、県が進めている恐竜キッズランド構想の中で検討していきたい。

河川環境の悪化について

問平成24年5月に「第20回環境自治体会議」が開催されるが、10月上旬には九頭竜川本流に大量の魚の残さが捨てられ、また過去には南大橋付近に大量の紙おむつが捨

その他の質問
・河川における急激な増水対策について

てられていた。国土交通省の推計で九頭竜川のごみの8割が不法投棄で、2割が川沿いの住民のポイ捨てとして行っている。

一方、北郷小学校の3年生が梅花藻を地域の宝として守ろうとしているし、勝山青年会議所のクリーンアップ九頭竜川や勝山の3中学校生徒が河川へのごみ投棄防止を訴えている。理事者の今後の対策について伺う。

答今後も関連事業を粘り強く継続すること、これまでの悪しき習慣を改め川にごみを捨てない文化を醸成し、ごみのないきれいな勝山を取り戻せるよう、子どもたちや地域住民の皆様と一緒に取り組んでいきたい。



下道議員

出産支援体制の交通費助成事業について

問市では福井社会保険病院の産婦人科で妊娠23週まで健診を受けるという条件の下、タクシー代など交通費に助成金が出るという支援を実施している。しかし平成21年度において、この助成制度はたった7名にしか利用されなかった。大野市では妊娠16週から23週の間申請すれば全員1万5000円が支給されるという手当がある。勝山市も全員に助成すべきと思うが市の考えを伺う。

答妊婦全員に一定額の助成ができないかということについては、他の子育て支援制度の創設とあわせ、今後の研究課題としたい。

勝山市のごみ袋について

問現在の勝山市のごみ袋は長方形のもので、ごみをいっばい詰めるのが非常に困難である。結んだつもりが突然ほぐれて、あたりにごみが散乱するという最悪な状況になった経験をもつ方も多いと思う。そこで、他市で使用されている結びひもがついているごみ袋を導入できないか伺う。

その他の質問
・奥越地域職場産業振興センターの活用について
・県の恐竜キッズランド構想と勝山市の対応について
・小中学校一貫教育について

答指定ごみ袋に持ち手をつけてほしいという要望はこれまでもお聞きしており、今年度、勝山市消費者団体連絡協議会の役員の方に意見を伺った際にも便利になるとの意見が多く聞かれた。

このことから、持ち手つき指定ごみ袋への規格の変更を行い、製造業者へ順次通知していく。ただし製造業者の在庫調整期間が必要のため、実際の流通は24年春以降になるものと思われる。

また、新しいごみ袋を導入した後も平袋タイプのごみ袋はこれまで通り使用できるので、あわせてPRしていきたい。



福井社会保険病院